

四国民放クラブだより

四国クラブ秋季ゴルフコンペ 〜サンピアゴルフクラブで開催〜

10月24日最高のゴルフ日和となった徳島市サンピアゴルフクラブに4県から21名が集い秋季コンペを開催。



当日のコースは、徳島屈指のゴルフクラブとあって優しさと難度の高さ、柔軟織り交ぜてレイアウトされたコースで、参加者それぞれに好打!やらミスショット?とを織り交ぜながら、プレー。新ペリア方式での成績は、優勝 庄野 栄さん (JRT) 優 勝 ネット71・0 (年齢上位) グロス89 ネット71・0 (JRT) 準優勝 小倉克章さん (JRT)

グロス83 ネット71・0
また、この日のベストグロスは、田中 顕一さん(RKC)77でした。今回は、4月の総会の後、再び徳島県で開催されます。

険しい道を辿る「修行の霊場」 〜第1番焼山寺訪問〜

四国「空海クラブ」

四国八十八霊場は、街中にあたり長閑な田園の中にあたりりますが、今回の訪問は、「遍路ころがし」との異名が付く屈指の険しい山道を登った先にある山寺、標高七百mにある摩蘆山焼山寺です。「死出や三途の難所あり」の言われ通り、境内で出会った歩き遍路の方は、「前の寺から六時間掛かって辿り着いた」と疲れた様子で話していました。

その距離約20km、険しい坂道が続く霊場屈指の難所の寺からして納得のいく話でした。しかし、この難所も狭いながらも今は車道が整備され、私たちも車で難なく訪問お参りする事が出来ました。

今回の空海クラブは、この「12

番焼山寺訪問と神山温泉の湯を楽しむ会」の名のもと実施しました。当日は、秋雨が落ちる生憎の空模様でしたが、4県から集まった10人は、樹齢百年を超す杉の巨木に囲まれた本堂、大師堂などを参拝暫く幽玄の世界に身を置き心を落ち着かせました。この後、庫裡に招かれ笠井真幸副住職の法話を拝聴しました。



副住職の法話を聴く

「仏さまは、色々な示唆に富んだ姿をされており、それぞれ意味のある形で、悟りを暗示しているのです。右手は、法具を持っているが、左手のひらを上に向け、少し下げて、願いを叶える事を示し「信じる心を持っている」と私たちに受け入れようとされているのです。仏の前に立つ私たちの心の

あり方受け入れ方、それこそが大切なことなのです」と話されました。また、煩惱を打ち捨て、菩提心をあらわす為の法具、密教法具の金剛杵(三、五、七鈷杵)など大師が右手にする法具の説明なども受け、一同領きながら納得の様子でした。

今回は、特に副住職のご配慮を受け、本堂、大師堂そして三面大黒天を安置したお堂内部にも案内して戴きました。時には私たちに少し専門的な知識を持ち合わせているか試される質問も受けたりしましたが、我が「空海部会」のメンバー、流石と言う場面を創り、副住職を唸らせる一幕もありました。この一時間余りにわたる法話の後、楽しみのひとつでもある神山温泉「ホテル四季の里」に移動、温泉の湯を楽しんだ後、地元食材を使った豪華?な食事を戴き盃を交わし会員の交流を深めました。翌日は希望者のみで11番藤井寺、17番井戸寺を参拝、それぞれ納経帳に朱印を戴いたり、参拝記念の品を買いました。今回の空海クラブを無事終えました。